

旅順攻城戰ノ梗概

一、日露戰役迄ニ至ル旅順口沿革ノ概要

旅順口ハ古來ヨリ軍事上ノ重要位置トシテ山東ノ登萊ト相對峙シ兵力ヲ配置シ海邊ノ防衛ニ任シアリシカ清朝文宗ノ咸豐十年(西曆一八六〇)英佛二國ト難ヲ構フルヤ聯合艦隊ハ旅順口ヲ根據トシテ策動スル所アリ茲ニ於テ清朝利益ニテ重要視スルニ至リ光緒五年(明治十二年)冬北洋大臣李鴻章上奏シテ旅順ハ渤海ノ要路宜シク武ヲ用ヒ東洋ノ重鎮トラシムヘキ地ナル旨ヲ詔キ同六年獨逸工兵少佐、分ケシネンヲ聘シ大工事ヲ起シ十數年ノ歳月ヲ費シ四方ニ砲台ヲ築キ船渠ヲ設ケ東洋一ノ軍港トラシメテ明治二十七年日清戰爭起ルヤ清軍ノ鐵壁ト稱シ旅順口モ我軍ハ僅々一日ノ攻撃ニテ之ヲ陥落セシメタリ戰後我國ノ遼東半島還附後旅順ハ露國ノ租借地トナリ明治三十年ヨリ日露戰役ニ至ル迄約千五百萬兩ノ經費ヲ以テ最新式ノ要塞ヲ設計構築シ且優勢ナル太平洋艦隊ノ東亞ニ於ケル唯一ノ不凍根據地トシ名實共ニ露國極東經營ノ立脚点トラシメタリ

二、日清戰役ニ於ケル旅順口ノ攻略(明治二十七年十一月三十一日)

當時旅順ハ清軍二萬二千ヲ以テ之ヲ守備シアリシカ其大部ハ何等訓練ナキ新募兵ニシテ且之ヲ統スル主將ナク全ク烏合ノ衆ニ等シカリキ第一軍司令官大山大将ハ此ノ情況ヲ知り第一師團到着ヲ待ツトナク第二師團混成隊第十二旅團ヲ以テ強襲依リ一撃ニテ之ヲ攻略スルニ決セリ即チ步兵二大隊山砲兵一中隊ヲ以テ東北正面ヨリ之ヲ牽制セシメ第一師團ヲシテ西北方ヨリ先索子山ヲ占領セシム此ノ間敵ハ出撃ニ應スル為ニ混成隊第十二旅團ヲ火石嶺ノ線ニ位置セシメ第一師團ノ案子山ヲ占領スルヤ第一師團ノ左翼ニ増加シ相合シテ全線攻撃ニ移ラントセリ十一月二十日拂曉ヨリ第一師團ハ案子山ヲ攻撃シ奮戰シ後午前八時之ヲ占領ス敵ハ自玉山ヨリ松樹山線退キ更ニ抵抗ヲ試シ混成隊困ハ此ノ情況ヲ目撃シ攻撃前進シ移リ正午敵ノ頑強ニ抵抗ヲ一蹴シ龍山望台ヲ占領ス茲ニ於テ敵ハ潰乱ニ陥リ又收容スヘカラス軍ハ勝ヲ乘シテ之ヲ追撃シ同日夕刻ニハ全要塞ヲ占領セリ此ノ戰關ニ於ケル我軍ノ死傷二百八十八人斯ノ如クシテ清國カ多年巨費ヲ投シ心血ヲ注キテ築ケル要塞モ守ルニ人ナク僅々一日ニテ陥落セリ乃チ大将ハ此ノ役ニ第一師團第一旅團長トシテ參與セリ

三、日露戰役ニ於ケル旅順口ノ攻略(自明治三十七年八月一日)

旅順ノ一般情況及前進陣地ノ攻略並ニ攻圍陣地ノ占領

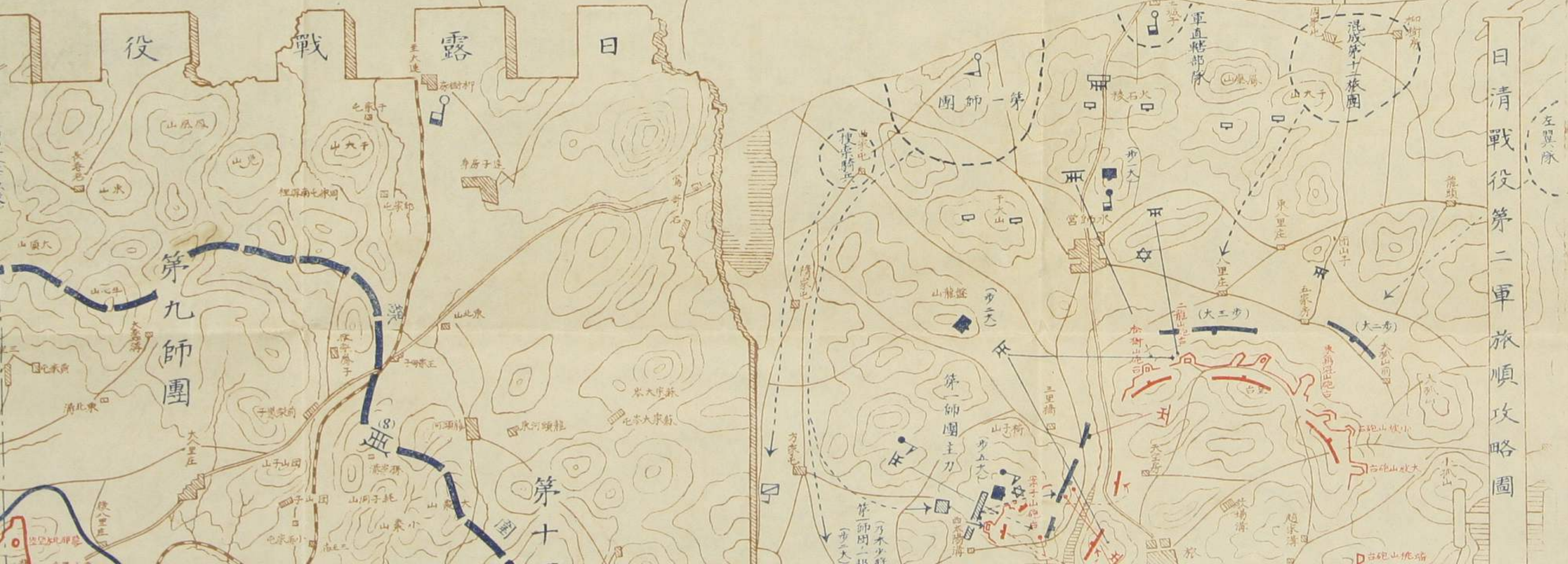
當時旅順要塞ハ略完成システセル中將陸兵約四萬ヲ以テ之ヲ守リ港内ニ優勢凡太平洋艦隊アリ人呼ビテ難攻不落ト稱ス我艦隊ハ明治三十七年二月六日夜奇襲ヲ以テ旅順港外ニ露艦ヲ擊破シ後屢々敵艦隊ヲ攻撃シ且前後三回ニ亘リ港口ノ閉塞ヲ敢行シテ敵艦隊ノ脱出ヲ防カントセリ乃チ大将指揮スル我軍第三軍第一師團第一師團及攻城諸部隊戰闘員約五萬人ハ六月下旬以來多大ノ犠牲ヲ以テ歪頭山、劍山ノ線鞍子嶺ノ線及鳳凰山、干大山ノ線ニ在ル敵ノ前進陣地ヲ逐次攻略シ八月一日攻圍線ヲ占領シ本防禦ニ對スル攻撃ヲ準備ス

◎第一回總攻撃(八月十九日—八月二十四日)

當時第三軍ハ我艦隊ヲシテ特ニ東航セントスルバルナク艦隊ヲ備フル為ニ速ニ旅順ヲ攻略スルニ必要迫ラレアリシヲ以テ強襲依リ一撃ニテ之ヲ攻略セントシ其主攻撃ヲ東北正面ニシテ八月十九日ヨリ總攻撃ヲ開始ス然ルニ敵ハ抵抗頑強ニシテ數回ニ亘リ我軍勇戦ナル突撃ハ常ニ多大ノ損害ヲ受ケ永久堡壘ニモ占領スルヲ得ヌ僅ニ臨時構築ノ東西盤龍山ニ堡壘ヲ占領セシメ二十四日午前時我軍決死隊公堂突入シ時ニ占領セルニ職滅的損害ヲ蒙リ再ニ敵ヲ奪回スル所トナリ逐次攻撃ヲ中止スルニ至リ第一回總攻撃ニ於ケル我軍ノ損害二萬五千ニ及ヒ露軍ハ千五百内外アリシカ知シ

◎第二回總攻撃(十月二十六日—十月三十一日)

當時第三軍ハ我艦隊ヲシテ特ニ東航セントスルバルナク艦隊ヲ備フル為ニ速ニ旅順ヲ攻略スルニ必要迫ラレアリシヲ以テ強襲依リ一撃ニテ之ヲ攻略セントシ其主攻撃ヲ東北正面ニシテ八月十九日ヨリ總攻撃ヲ開始ス然ルニ敵ハ抵抗頑強ニシテ數回ニ亘リ我軍勇戦ナル突撃ハ常ニ多大ノ損害ヲ受ケ永久堡壘ニモ占領スルヲ得ヌ僅ニ臨時構築ノ東西盤龍山ニ堡壘ヲ占領セシメ二十四日午前時我軍決死隊公堂突入シ時ニ占領セルニ職滅的損害ヲ蒙リ再ニ敵ヲ奪回スル所トナリ逐次攻撃ヲ中止スルニ至リ第一回總攻撃ニ於ケル我軍ノ損害二萬五千ニ及ヒ露軍ハ千五百内外アリシカ知シ



日清戰役第二軍旅順攻略圖

之ヲ占領ス敵自玉山ヨリ松樹山線ニ退キ更ニ抵抗ヲ試ム混成旅團ハ此ノ情況ヲ目撃シ
 攻撃前進シ移リ正午敵頑強ニ抵抗シ一蹴ニ龍山望台ヲ占領ス茲ニ於テ敵ハ潰乱ニ
 陥リ又收容スヘカラス軍ハ勝來シテ之ヲ追撃シ同日夕刻ニハ全要塞ヲ占領セリ此ノ
 戦關ニ於テ我軍ノ死傷二百八十人斯ノ如クシテ清國ノ多年巨費ヲ投シ心血ヲ注キテ
 築ケル要塞モ守ルニ人ナク僅々一日ニテ陥落セリ乃木大将ハ此ノ役ニ第一師團第一旅
 團長トシテ參與セリ

三、日露戰役ニ於ケル旅順口ノ攻略 (自明治三十七年八月一日
 至同三十八年一月一日)

●旅順ノ一般情況及前進陣地ノ攻略並ニ攻圍陣地ノ占領
 當時旅順要塞ハ略完成システッセル中將陸兵約四万ヲ以テ之ヲ守リ港内ニ優勢ナル太
 平洋艦隊アリ人呼ビテ難攻不落ト稱ス我艦隊ハ明治三十七年三月六日夜奇襲ヲ以テ
 旅順港外ニ露艦ヲ撃破シ後屢々敵艦隊ヲ攻撃シ且前後三回ニ亘リ港口ノ閉塞ヲ敢
 行シ以テ敵艦隊ノ脱出ヲ防カントセリ乃木大将ノ指揮スル我第三軍第一第九第十師團
 及攻城諸部隊戰鬪員約五万人ハ六月下旬以來多大ノ犠牲ヲ以テ歪頭山、劍山ノ線
 鞍子嶺ノ線及鳳凰山ノ大山ノ線ニ在ル敵前進陣地ヲ逐次攻略シ八月一日攻圍線ヲ占
 領シ本防禦ニ對スル攻撃ヲ準備ス

●第一回總攻撃 (八月十九日—八月二十四日)

當時第三軍ハ我艦隊ヲシテ特ニ東航セントスルバルヲク艦隊ニ備フル為速ニ旅順ノ攻略メ
 ルニ必要トシテ強襲ニ依リ一舉ニ之ヲ攻略セントシ其ノ主攻撃ヲ東北正面ニシテ
 八月十九日ヨリ總攻撃ヲ開始ス然レニ敵ノ抵抗頑強ニシテ數回ニ亘リ我軍ノ勇戦ナル突撃
 ハ常ニ多大ノ損害ヲ受ケ永久堡壘ニモ占領スルヲ得ス僅ニ臨時構築ノ東西盤龍山ニ堡
 壘ヲ占領セシメ二十四日午前時我軍ノ決死隊ニ望台突入シ一時之ヲ占領セシメ敵ノ損害ヲ蒙リ
 再敵ノ奪回スル所トナリ遂ニ攻撃ヲ中止スルニ至レリ第一回總攻撃ニ於ケル我軍ノ損害
 二万五千及ヒ露軍ハ二千五百内外アリシカ如シ

●第二回總攻撃 (十月二十六日—十月三十一日)

第二回總攻撃失敗後正攻法ト強襲ト併用ニ依リテ之ヲ攻撃セントシ着々攻撃作業ヲ實
 施シテ敵ノ退避スルト同時ニ新ニ增加セラレタル二十八冊榴彈砲ヲ掘付テ終リ攻城砲ノ
 不足ヲ補フ所アリ斯テ十月二十六日ヨリ同月三十一日ニ亘リ第二回總攻撃ヲ開始シ我二十八冊
 榴彈砲ノ威力猛烈ニシテ敵ヲ震駭セシメ我軍勢ヒテ得テ突撃ヲ實施セシメ永久堡壘ノ
 外壕ニ遭遇シ之ヲ經過意ノ如クナラス敵ト咫尺ノ間ニ對峙シ空シク攻撃頑強ニ至リ
 本戰關ニ於ケル我軍ノ損害約三千八百露軍ハ四千五百内外ナリシカ如シ

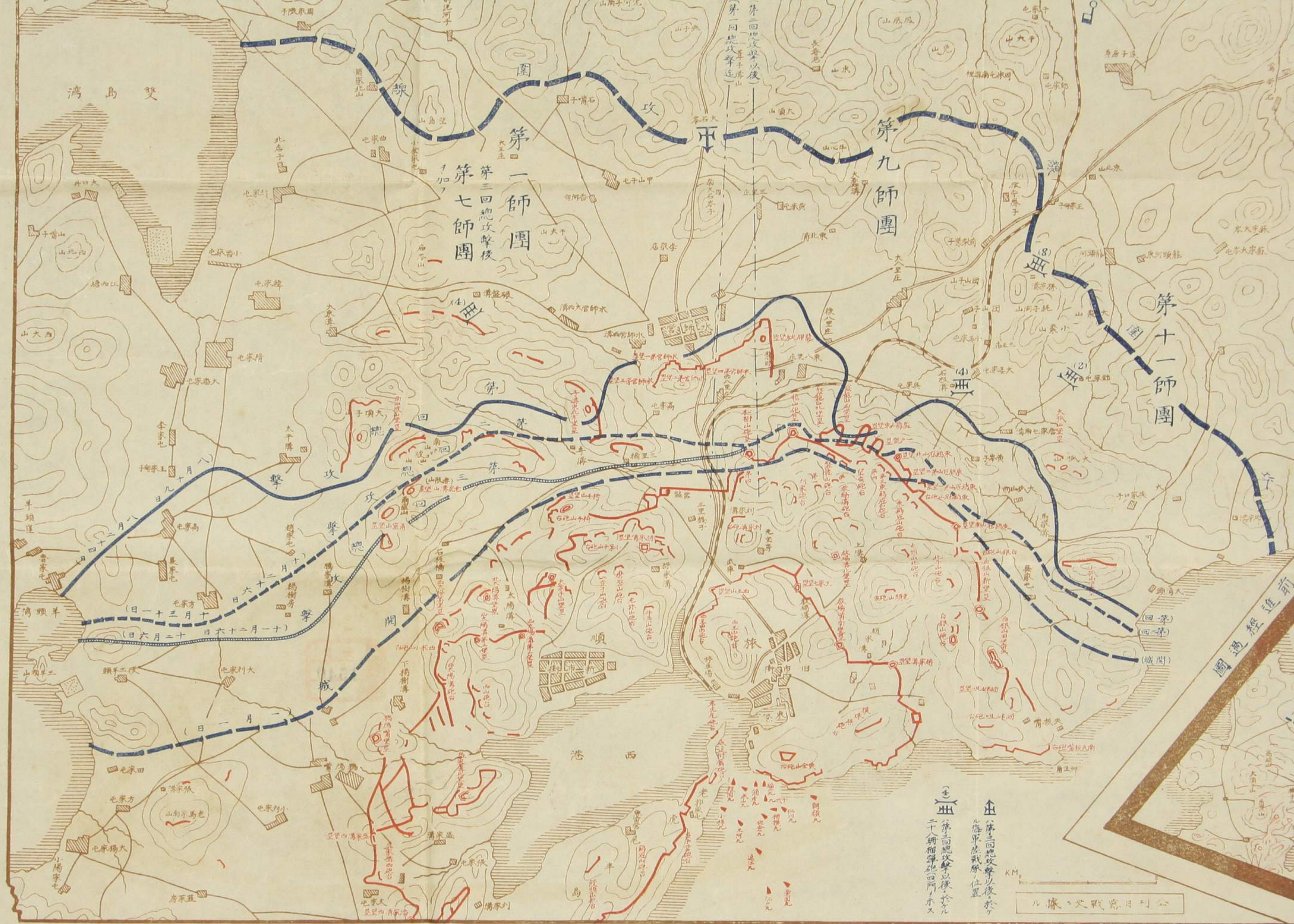
●第三回總攻撃 (十一月二十六日—十二月六日)

斯ノ間十月十五日ニシテ艦隊ハ遂ニ本國ヲ出航セリト報アリ旅順攻略ハ今ニ魚肩ノ
 急トナリ刻々擧隊スヘキアラス十月二十六日多大ノ期待ヲ以テ第三回總攻撃ヲ開始セリ
 本攻撃ハ第二回總攻撃ノ失敗ニ鑑ミ松樹山線ニ龍山望台ニ砲臺ヲ築キ永久堡壘ハ抗道
 作業ニ依リテ外壕ノ側防機關ヲ破壊シ之ヲ通過ヲ容易ナラシメ次第ニ突撃ヲ以テ堡
 壘ヲ奪取セントセリ二十六日午後一時乃至二時第十師團ハ東龍冠山北堡壘ニ第九師團ハ
 二龍山堡壘ニ第一師團ハ松樹山堡壘ニ向ヒ各突撃隊ヲシテ突撃ヲ實施セシメ勇戦ナル
 將卒ニ三堡壘内ニ突入セシメシテ他ノ悉ク之ヲ連セサル以前ニ燈シ又如何トモスル能ハス
 軍司令官ハ此ノ情況ヲ目撃シ特別支隊ノ奇襲ヲ決定セシム白樺隊ノ壯舉即チ之ナリ
 該隊鐵道線路ニ突入シ自玉山ヲ占領シ二學旅順要塞ヲ兩斷セントスルモノシテ午後
 六時運動ヲ開始シ午後九時頃松樹山第四砲臺ニ突入セシメ敵ノ抵抗頑強ニシテ我第
 一線ハ混亂シ支隊長中村少將傷キ此ノ壯烈ナル壯圖モ挫折スルニ至レリ今ヤ第三回ノ
 總攻撃モ不成功ニ終ラントス茲ニ於テ軍司令官ハ正面攻撃ヲ中止シ全カヲ擧ケテ三
 高地ノ奪取ヲ決定セシム斯クテ十一月二十八日ヨリ十二月五日ニ亘リ第一師團及第七師團ハ全
 カヲ擧ケテ三高地ノ攻撃ヲ實施シ難戰苦闘セキ犠牲ヲ併シ十二月六日辛シテ之
 ヲ占領スルヲ得タリ三高地ニ度我軍ノ手ニ歸スルヤ港内ノ軍艦指揮ノ間ニ在リ即チ
 該高地ニ觀測所ヲ設ケ我二十八冊榴彈砲ヲ以テ軍艦ヲ射撃シ數日ヲ出スシテ大部ヲ擊
 沈シ東洋ニ雄視セシ露國太平洋艦隊ハ茲ニ敢ナキ最後ヲ遂クルニ至レリ第三回總攻
 撃ニ於ケル我軍ノ死傷二万七千露軍ハ四千内外ナリシカ如シ

●攻撃正面堡壘ノ攻略並ニ開城 (十二月十八日—一月一日)

軍ハ攻撃正面ノ永久堡壘ノ逐次堡壘宛砲撃ヲ大爆破ヲ行ヒ之ヲ占領スルニ決シ第十
 一師團ハ十二月十八日東龍冠山北堡壘ノ胸壁ヲ根本的大爆破ノ後突撃シテ之ヲ
 占領シ續イテ第九師團ハ同月二十三日二龍山ヲ第一師團ハ同月三十一日松樹山ヲ各爆
 破シテ之ヲ占領シ明治三十八年一月一日第一第九第十師團ハ幸フテ望台ヲ占領セリ
 茲ニ於テ敵將ステッセル中將ハ其ノ退避ヲ難キヲ知リ一月一日午後三時三十分
 我乃木軍司令官ニ開城ヲ乞フニ至レリ六月下旬前進陣地ノ攻畧ヲ開始シテヨリ
 月ヲ閱スルコト實ニ半歲此ノ間我軍ノ死傷五万九千四百八人内戦死二万五千四百
 八ヲ算ス





第一師團
 第三回總攻擊後
 第七師團

第九師團

第十一師團

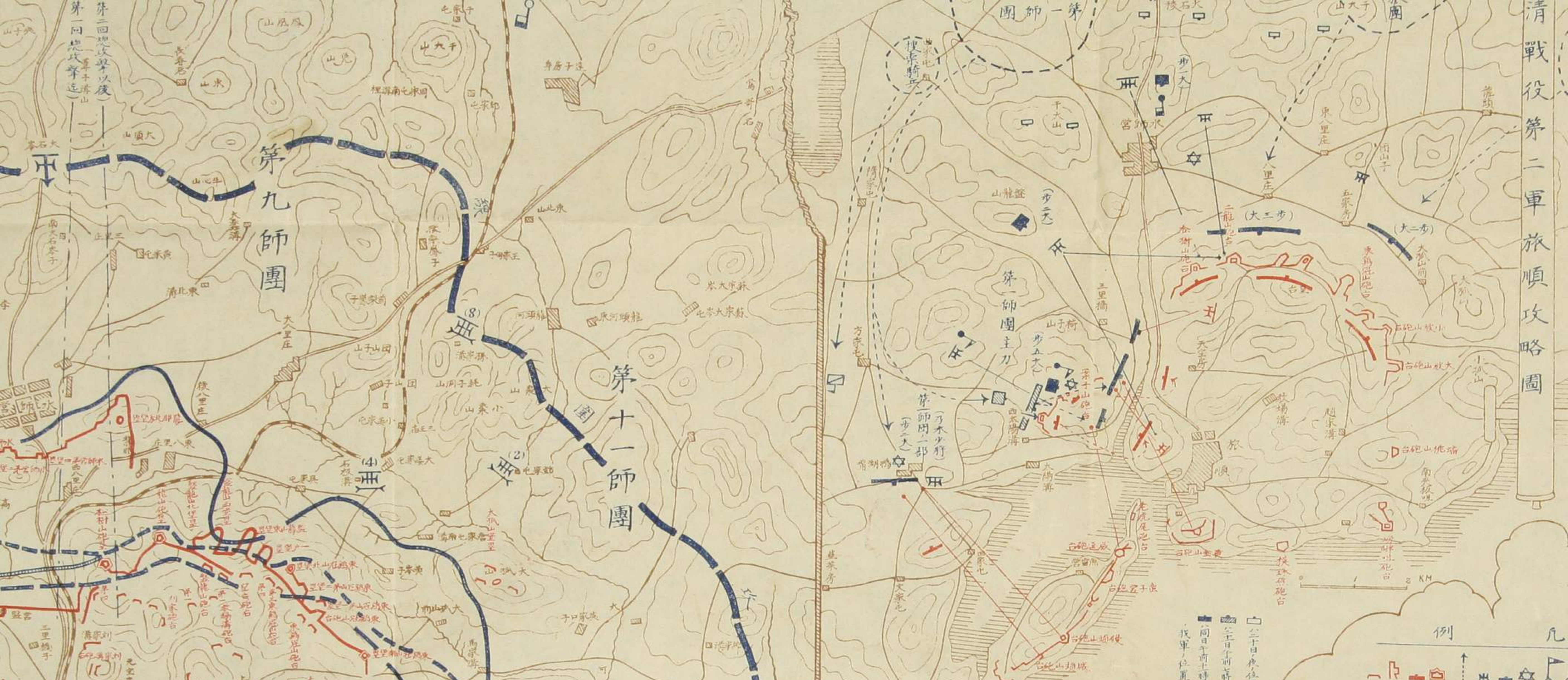
日一十月十
 日六十二月一十

第三回總攻擊以後、於九
 海軍陸戰隊、位置
 二十個榴彈砲四門、亦又

公刊日戰史圖



清戰役第二軍旅順攻略圖



旅順攻戰圖占領迄



- 例
- 日本軍司令部
 - 師團司令部
 - 旅團司令部
 - 砲兵部隊
 - 前進方向
 - 敵軍永久堡壘
 - 砲台
 - 堡壘
 - 砲台

由第三師團總攻擊以後、於今
九海軍陸戰隊、位置
千人砲榴彈砲四門、亦又

旅順攻戰圖占領迄

日一月四年二和
製調部司令軍東聯